



市民創世会  
空 美英 議員

## 動物愛護について

**問** 野良猫不妊手術費補助の利用件数と内訳および補助金20万円の残高は。制度開始から1年経過したが、利用件数について、どのように受け止めているのか。

**答** 2月末現在での申請件数は21件で、内訳は去勢手術4件、避妊手術17件であったが、うち去勢手術1件および避妊手術5件は申請後に野良猫が所在不明となったため取下げとなった。補助金の残高は10万1,000円である。令和4年度から開始された事業であり、当初は申請件数も少ない状況だったが、下半期に入り申請件数も増加傾向となり、徐々に制度が浸透してきているのではないかと考える。

**問** 申請から支給までの流れは。

**答** 申請書の内容確認後、申請者に交付決定通知書を送付する。その後、申請者が動物病院に交付決定通知書と捕獲した猫を持ち込み、手術を行う。手術後に、申請者から実績報告書と補助金の交付請求書の提出を受け、補助金の支払いを行う。なお、手術後の手続については、福井県獣医師会に委任することができる。

**問** 申請から手術まで、より迅速にできるような検討は。

**答** 市民ボランティアの意見や他の自治体等を参考にし、変更できる場所は良い方向に変更していきたい。



手術までの迅速な対応を



市民創世会  
水津 達夫 議員

## 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について

**問** 平成23年からの本市の高齢者の人口および高齢者世帯数の推移は。

**答** 4月1日現在における高齢者の人口は、平成23年は1万5,108人、平成31年は1万8,513人、令和4年は1万8,860人と増加しており、今後も令和22年度頃までは増加し続けると推計されている。また、高齢者単身世帯および高齢者夫婦のみ世帯を合わせた高齢者世帯数の推移は、平成23年には3,356世帯、平成31年には4,998世帯、令和4年には5,475世帯となり、増加し続けている。

**問** 主な介護保険サービスおよび利用状況は。

**答** 介護予防サービスでは、介護予防通所リハビリテーション、介護予防訪問看護、介護予防福祉用具貸与など、介護サービスでは、居宅サービスの通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与などが多く利用されている。また、地域密着型サービスでは、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、施設サービスでは老人保健施設の利用が多くなっている。



介護保険サービス利用の現状は



志清同友会  
帰山 明朗 議員

## 中心市街地の活性化の推進を

**問** 中心市街地活性化の今後の具体的な取組は。

**答** これまで、中心市街地への求心力を高め、にぎわいを創出することで活性化につなげる取組を実施してきた。今後も、「鯖江おかみさん会」や商店会などと協力した様々な事業について、補助金を活用した支援を継続していく。また、空き店舗へのサテライトオフィス誘致は、コロナ禍では大きな誘致活動はできなかったが、今後は積極的に事業展開をしていく。さらに、サンドーム福井でのコンサート開催による来訪者が、中心市街地に足を伸ばすきっかけとなるイベントなどを、商店街とともに知恵を出し

合い企画していきたい。近年では、経営者の高齢化や会員の減少などにより、中心市街地のにぎわいが低下しつつあるが、地域おこし協力隊を新たに1名任命し、商店街や商工会議所、観光協会等の関係団体との連携により、にぎわい創出イベントの支援や情報発信、創業支援など多様な展開を考えている。鯖江の顔であり玄関口である中心市街地に磨きをかけることは非常に大切であるため、皆で協力し、地域の活性化につなげていきたい。

### そのほかの質問

○市街地の定住人口増加のための施策

○市街地の空き家対策および危険ビルへの対応